

四半期報告書

第136期 第2四半期

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式会社豊田自動織機

(E01514)

目 次

頁

第136期 第2四半期 四半期報告書

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営上の重要な契約等】	4
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
(1) 【株式の総数等】	6
(2) 【新株予約権等の状況】	6
(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】	6
(4) 【ライツプランの内容】	6
(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】	6
(6) 【大株主の状況】	7
(7) 【議決権の状況】	8
2 【役員の状況】	8
第4 【経理の状況】	9
1 【四半期連結財務諸表】	10
(1) 【四半期連結貸借対照表】	10
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	12
(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】	14
2 【その他】	19
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	20
独立監査人の四半期レビュー報告書	巻末

本書は、金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく四半期報告書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次および頁を付し、出力・印刷したものであります。

本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された独立監査人の四半期レビュー報告書を末尾に綴じております。

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第136期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社豊田自動織機

【英訳名】 TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 大 西 朗

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)22-2511

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 河 井 康 司

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内2丁目4番1号
丸の内ビルディング29階
株式会社豊田自動織機 東京支社

【電話番号】 東京(03)5293-2500

【事務連絡者氏名】 支社長 石 川 俊 彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第135期 第2四半期 連結累計期間	第136期 第2四半期 連結累計期間	第135期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	762,959	981,406	1,615,244
経常利益 (百万円)	42,440	64,866	86,836
四半期(当期)純利益 (百万円)	24,075	43,530	53,119
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△98,168	302,278	349,283
純資産額 (百万円)	1,083,138	1,820,288	1,524,933
総資産額 (百万円)	2,407,306	3,737,433	3,243,779
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	77.24	139.09	170.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	138.96	170.35
自己資本比率 (%)	43.05	47.30	45.43
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	63,401	68,362	151,299
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△47,326	△72,595	△274,210
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△52,938	27,829	7,050
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	258,089	203,578	179,359

回次	第135期 第2四半期 連結会計期間	第136期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	30.61	49.74

(注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。

2 第135期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業の内容に重要な変更はありません。
また、主要な関係会社の異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、事業等のリスクに重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を2,185億円(29%)上回る9,814億円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期を146億円(39%)上回る518億円、経常利益は前年同期を224億円(53%)上回る648億円、四半期純利益は前年同期を195億円(81%)上回る435億円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車

自動車におきましては、売上高は前年同期を1,043億円(26%)上回る5,071億円となりました。営業利益は前年同期を46億円(31%)上回る194億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツは減少したものの、RAV4が増加し、売上高は前年同期を808億円(51%)上回る2,381億円となりました。

エンジンにつきましては、KD型ディーゼルエンジンは減少したものの、AR型ガソリンエンジンが増加したことにより、売上高は前年同期を24億円(2%)上回る1,076億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内・海外ともに増加した結果、売上高は前年同期を212億円(19%)上回る1,329億円となりました。

電子機器・鋳造品ほかにつきましては、電子機器は減少したものの、鋳造品が増加したことにより、売上高は前年同期並みの283億円となりました。

② 産業車両

産業車両におきましては、主力のフォークリフトトラックが国内・海外ともに増加したことに加え、2013年3月にカスケード株式会社を子会社化したことにより、売上高は前年同期を1,028億円(37%)上回る3,838億円となりました。営業利益は前年同期を78億円(42%)上回る264億円となりました。

③ 物流

物流におきましては、物流受託事業が増加し、売上高は前年同期を14億円(3%)上回る474億円となりました。営業利益は前年同期並みの23億円となりました。

④ 繊維機械

繊維機械におきましては、紡機、織機が増加したことにより、売上高は前年同期を135億円(75%)上回る315億円となりました。営業利益は18億円(前年同期は0.6億円の営業損失)となりました。

⑤ その他

その他におきましては、子会社でありました株式会社ティーアイビーシーを2013年1月に解散したことにより、売上高は前年同期を35億円(24%)下回る114億円となりました。営業利益は前年同期を1億円(6%)上回る15億円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

総資産につきましては、主に投資有価証券の時価評価額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ4,937億円増加し、3兆7,374億円となりました。負債につきましては、主に繰延税金負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,983億円増加し、1兆9,171億円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,953億円増加し、1兆8,202億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動による683億円の資金の増加、投資活動による725億円の資金の減少、財務活動による278億円の資金の増加などの結果、2,035億円となり、前年同期に比べ545億円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、主に税金等調整前四半期純利益を648億円計上したことにより683億円となり、前年同期に比べ49億円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出が615億円あったことにより725億円となり、前年同期に比べ252億円増加しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の減少による支出が652億円あったものの、長期借入れによる収入が881億円あったことなどにより278億円(前年同期は529億円の減少)となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費は、223億円であります。

- (注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。
2 セグメントの業績に記載の売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,100,000,000
計	1,100,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	325,840,640	325,840,640	東京、名古屋 各証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	325,840,640	325,840,640	—	—

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	325,840	—	80,462	—	101,766

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	76,600	23.51
株式会社デンソー	愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地	29,647	9.10
東和不動産株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目7番1号	15,697	4.82
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目9番8号	15,294	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	9,433	2.90
日本生命保険相互会社	大阪府大阪市中央区今橋3丁目5番12号	6,657	2.04
アイシン精機株式会社	愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地	6,578	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	5,922	1.82
豊田自動織機従業員持株会	愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地	4,801	1.47
ザ バンク オブ ニューヨーク トリーテイー ジヤスデツク アカウント (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	Avenue Des Arts, 35 Kunstlaan, 1040 Brussels, Belgium (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	4,198	1.29
計	—	174,832	53.66

(注) 1 当社は、自己株式(12,681千株)を所有しておりますが、上記の大株主より除いております。

2 上記所有株式数のうち信託業務に係る株式は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)

9,433千株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)

5,922千株

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,681,200	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 312,924,400	3,129,244	—
単元未満株式	普通株式 235,040	—	—
発行済株式総数	325,840,640	—	—
総株主の議決権	—	3,129,234	—

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が74株含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町 2丁目1番地	12,681,200	—	12,681,200	3.89
計	—	12,681,200	—	12,681,200	3.89

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株あります。
なお、当該株式数は、「①発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)および第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	230,348	237,150
集配金業務用の現金及び預金	49,981	49,543
受取手形及び売掛金	215,799	222,802
リース投資資産	41,964	46,844
有価証券	33,047	31,575
商品及び製品	66,670	71,063
仕掛品	35,088	37,579
原材料及び貯蔵品	40,762	43,366
繰延税金資産	23,836	23,253
その他	46,222	49,139
貸倒引当金	△3,204	△3,513
流動資産合計	780,517	808,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	138,871	144,266
機械装置及び運搬具（純額）	218,214	235,869
工具、器具及び備品（純額）	30,500	31,558
土地	118,244	118,624
建設仮勘定	43,982	45,103
有形固定資産合計	549,814	575,422
無形固定資産		
のれん	122,003	101,260
その他	46,045	83,891
無形固定資産合計	168,049	185,151
投資その他の資産		
投資有価証券	1,598,437	2,008,208
繰延税金資産	12,304	10,304
リース投資資産	93,572	104,689
その他	41,231	45,156
貸倒引当金	△148	△304
投資その他の資産合計	1,745,398	2,168,054
固定資産合計	2,463,262	2,928,628
資産合計	3,243,779	3,737,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	180,146	181,758
短期借入金	183,920	122,128
コマーシャル・ペーパー	30,224	27,980
1年内償還予定の社債	4,499	11,067
リース債務	44,851	46,385
未払金	17,623	17,618
未払法人税等	15,958	19,800
繰延税金負債	2,923	3,009
役員賞与引当金	570	291
その他	178,378	174,863
流動負債合計	659,095	604,904
固定負債		
社債	213,584	233,791
長期借入金	236,318	317,671
リース債務	101,883	106,608
繰延税金負債	440,356	585,126
退職給付引当金	※1 52,779	※1 54,889
その他	14,829	14,154
固定負債合計	1,059,750	1,312,241
負債合計	1,718,846	1,917,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	105,898	105,589
利益剰余金	492,578	526,742
自己株式	△48,405	△45,036
株主資本合計	630,534	667,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	830,054	1,075,529
繰延ヘッジ損益	△237	60
為替換算調整勘定	13,163	24,458
その他の包括利益累計額合計	842,980	1,100,047
新株予約権	1,478	603
少数株主持分	49,939	51,878
純資産合計	1,524,933	1,820,288
負債純資産合計	3,243,779	3,737,433

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	762,959	981,406
売上原価	634,268	809,210
売上総利益	128,690	172,195
販売費及び一般管理費	※1 91,479	※1 120,389
営業利益	37,210	51,806
営業外収益		
受取利息	4,318	5,294
受取配当金	10,732	18,598
その他	3,017	4,818
営業外収益合計	18,068	28,710
営業外費用		
支払利息	7,303	7,825
その他	5,534	7,825
営業外費用合計	12,838	15,651
経常利益	42,440	64,866
特別損失		
関係会社整理損	※2 6,616	—
特別損失合計	6,616	—
税金等調整前四半期純利益	35,824	64,866
法人税、住民税及び事業税	12,926	19,295
法人税等調整額	△286	1,699
法人税等合計	12,640	20,995
少数株主損益調整前四半期純利益	23,184	43,871
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△891	341
四半期純利益	24,075	43,530

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,184	43,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,586	245,664
繰延ヘッジ損益	282	297
為替換算調整勘定	△11,880	12,177
持分法適用会社に対する持分相当額	△167	267
その他の包括利益合計	△121,352	258,407
四半期包括利益	△98,168	302,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,281	300,597
少数株主に係る四半期包括利益	△886	1,681

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,824	64,866
減価償却費	42,671	52,546
減損損失	4,516	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	334
受取利息及び受取配当金	△15,051	△23,892
支払利息	7,303	7,825
持分法による投資損益 (△は益)	△296	△924
売上債権の増減額 (△は増加)	17,277	△1,651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,923	△5,381
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,520	△1,219
その他	1,591	△21,651
小計	68,394	70,851
利息及び配当金の受取額	15,100	23,816
利息の支払額	△7,325	△7,256
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△12,768	△19,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,401	68,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,838	△61,546
有形固定資産の売却による収入	3,833	4,914
投資有価証券の取得による支出	△9	△31,958
投資有価証券の売却による収入	747	57
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△620	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△505	—
貸付けによる支出	△5	△682
貸付金の回収による収入	85	357
定期預金の純増減額 (△は増加)	18,315	19,048
その他	△20,329	△2,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,326	△72,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△34,070	△65,291
長期借入れによる収入	36,011	88,194
長期借入金の返済による支出	△41,831	△7,098
社債の発行による収入	—	26,499
自己株式の取得による支出	△2	△73
配当金の支払額	△7,792	△9,366
少数株主への配当金の支払額	△225	△274
少数株主からの払込みによる収入	190	12
その他	△5,218	△4,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,938	27,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,857	622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38,721	24,218
現金及び現金同等物の期首残高	296,811	179,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 258,089	※1 203,578

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※1 退職給付引当金に含まれる役員（執行役員を含む）の退任慰労引当金の額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
役員退任慰労引当金	1,953百万円	1,653百万円

(四半期連結損益計算書関係)

- ※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び手当	34,390百万円	42,150百万円
研究開発費	15,188百万円	18,908百万円

- ※2 関係会社整理損

子会社でありました株式会社ティーアイビーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失(4,516百万円)、設備撤去費用の見積額などがあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	205,541百万円	237,150百万円
預入期間が3ヵ月を超える 定期預金	△628百万円	△65,147百万円
取得日から3ヵ月以内に 満期日または償還日の到来する 短期投資(有価証券)	53,176百万円	31,575百万円
現金及び現金同等物	258,089百万円	203,578百万円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	7,792	25	平成24年3月31日	平成24年6月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	7,792	25	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、7,792百万円の剰余金の配当を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月13日 定時株主総会	普通株式	9,366	30	平成25年3月31日	平成25年6月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	10,960	35	平成25年9月30日	平成25年11月26日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、9,366百万円の剰余金の配当を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	402,805	281,040	46,063	18,062	14,986	762,959	—	762,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,842	263	4,333	57	5,938	21,436	△21,436	—
計	413,648	281,304	50,397	18,119	20,925	784,395	△21,436	762,959
セグメント利益又は損失(△)	14,865	18,642	2,339	△61	1,421	37,207	3	37,210

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	507,133	383,873	47,431	31,531	11,436	981,406	—	981,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,353	352	5,193	82	6,498	24,480	△24,480	—
計	519,486	384,226	52,625	31,614	17,935	1,005,887	△24,480	981,406
セグメント利益	19,426	26,483	2,320	1,894	1,513	51,638	168	51,806

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額168百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」におきましては、子会社でありました株式会社ティーアイビーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失(4,516百万円)を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「繊維機械」におきましては、子会社でありますウースター テクノロジーズ株式会社の株式を追加取得したことにより、のれんの金額は、8,692百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(のれんの金額の重要な変動)

「産業車両」におきましては、子会社でありますカスケード株式会社の株式の取得が前連結会計年度末直前に行われたことに伴い、暫定的に算定されたのれん45,183百万円を計上しておりましたが、取得原価の配分が完了したことにより、17,813百万円減少しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

子会社でありますカスケード株式会社の株式の取得が前連結会計年度末直前に行われたため、取得原価の配分が完了しておらず、その時点で入手可能な合理的な情報に基づき暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間において、取得原価の配分が完了し、受け入れた資産および引き受けた負債は主に、固定資産の「無形固定資産」の「その他」32,846百万円、固定負債の「繰延税金負債」11,267百万円となりました。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	77円24銭	139円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	24,075	43,530
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	24,075	43,530
普通株式の期中平均株式数 (千株)	311,686	312,955
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	138円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	—	309
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

中間配当に関し、次のとおり取締役会において決議されました。

- | | |
|----------------|-------------|
| ①決議年月日 | 平成25年10月31日 |
| ②中間配当金の総額 | 10,960百万円 |
| ③1株当たりの金額 | 35円 |
| ④効力発生日および支払開始日 | 平成25年11月26日 |

(注) 平成25年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主に対して支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社豊田自動織機

取締役会 御 中

あらた監査法人

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 笹 山 勝 則

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 戸 田 栄

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 市 原 順 二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社豊田自動織機の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社豊田自動織機及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

